

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 IgA 腎症に対するステロイドパルス治療の投与量における有効性と安全性の検証(後方視的研究)』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 腎センター 職位・氏名 教授・酒井謙

【試料・情報の利用目的】

本研究では IgA 腎症と診断され治療を行った患者さんを対象に、ステロイドの投与量の違いが腎機能の推移と、治療合併症の発現に関わるかどうかを評価します。

2010 年 1 月～2024 年 12 月に、東邦大学医療センター大森病院で、腎生検を行い IgA 腎症と診断された患者さんかつ、IgA 腎症の治療法であるステロイドパルス治療(500～1000mg3 日間のステロイドパルス治療を約 1～2 ヶ月毎に投与するイタリア・Pozzi 式)を行った患者さんを対象として、2024 年 12 月地点までの診療録(カルテ)を遡り、治療前後の数値データを確認します。

これらの情報は、IgA 腎症に対して治療法の違いが腎機能に及ぼす影響と安全性を評価するために利用します。本研究では、ステロイドパルス治療の有効性と安全性を評価することで、将来の IgA 腎症の治療方針に貢献する可能性があります。

【他機関への提供】

東邦大学医療センター大橋病院の腎臓内科・植松光へ情報提供を行います。

尚、取得したデータは個人情報保護法に基づいて管理を徹底します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 血液、尿検査の数値データ、病歴、治療歴 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。収集した情報は統合して解析します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2025 年 2 月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 院長・酒井謙

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2010 年 1 月～2024 年 12 月に、腎生検を行い IgA 腎症と診断された患者さんかつ、IgA 腎症の治療法である Pozzi 式のステロイドパルス治療を行った患者さんを対象として、2024 年 12 月地点までの診療録(カルテ)を遡り、治療前後の数値データを確認します。

方 法: 約 100 人を想定します。後日、診療録(カルテ)から抽出した情報を解析します。

【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター大橋病院・腎臓内科

研究代表者：植松 光 役職：院内助教

【利用する者の範囲】

研究責任者は腎臓内科に所属する院内助教・植松光です。情報管理、データ解析にあたる共同研究者は、准教授・田中友里、教授・常喜信彦です。

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院腎臓内科 院内助教・植松光、准教授・田中友里、教授・常喜信彦

東邦大学医療センター大森病院腎臓センター 教授・酒井謙

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年3月31日までに下記へご連絡下さい。尚、患者さんの親族(代諾者)の方も本研究への参加承諾を拒否することができます。申し出のあった方の試料・情報は、利用しません。その場合でも、今後患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 腎臓センター

職位・氏名 教授・酒井謙

電話 03-3762-4151 内線 77022